

乳がん検診を受けましょう!!!

現在、日本人女性のがんでは乳がんが1番多く年々増加しており、なんと11人に1人が乳がんにかかっています。がんの死亡者数では乳がんは5番目となっています。

欧米では日本よりも乳がんの死亡者数は多いですが近年では年々減少しており、先進国の中で乳がんの死亡者数が減少していないのは日本だけです。なぜ日本だけ減少していないのでしょうか？欧米のマンモグラフィ検診の受診率は70%以上あるのに対し、日本は45%しかありません。乳がんの死亡者数が減少しない原因は検診受診率の低さにあると考えられます。

一般的に乳がんは他のがんに比べておとなしい傾向があり、早期がんなら完治する可能性が高いです。しかし、進行がんとなればやはり厳しくなってしまいます。重要なのはいかに早期に発見して治療できるかにかかっています。

今回は乳がんの専門の先生をお招きし、最新の乳がんについて皆さんと勉強したいと思います。

日時 平成31年2月16日(土曜日) 午後2時00分から4時00分
(開場:午後1時15分)

場所 瀬戸旭医師会館 1階ホール
瀬戸市西長根町10番地 Tel(0561)84-1155

申込先 瀬戸旭医師会 Tel(0561)84-1155 / Fax 84-5776
E-mail: isikai@setoasahi.com
・氏名(ふりがな)、電話番号、参加人数をご連絡下さい。



定員 230名(講演会場140名+ビデオ会場90名)
※定員になりましたら締め切りとさせていただきます。

プログラム

司会 瀬戸旭医師会 理事 花井雅志
挨拶 瀬戸旭医師会 会長 鳥井彰人
報告 乳がん検診実施結果

瀬戸市健康課 / 尾張旭市健康課

講演 「乳がん検診の重要性と乳がんの治療の実際」

総合上飯田第一病院

副院長 兼 乳腺センター長

窪田 智行先生

閉会 公立陶生病院 副院長 川瀬義久

共催: 瀬戸旭医師会 / 公立陶生病院

後援: 愛知県瀬戸保健所 / 瀬戸市 / 尾張旭市 / 長久手市 /
瀬戸歯科医師会 / 尾張旭市歯科医師会 /
瀬戸旭長久手薬剤師会 / 瀬戸労働基準協会

